

実施料包括項目

1回に採取した血液を用いて下記の項目数以上を行なった場合は項目数により所定点数となる。

生化学的検査 I (血液化学検査)	実施料 (点数)	生化学的検査 II (内分泌検査)	実施料 (点数)
総ビリルビン	11	成長ホルモン(GH)	105
直接ビリルビン又は抱合型ビリルビン	11	卵胞刺激ホルモン(FSH)	105
総蛋白	11	C-ペプチド(CPR)	105
アルブミン	11	黄体形成ホルモン(LH)	105
尿素窒素	11	テストステロン	119
クレアチニン	11	遊離サイロキシシン(FT4)	121
尿酸	11	遊離トリヨードサイロニン(FT ₃)	121
アルカリホスファターゼ(ALP)	11	コルチゾール	121
コリンエステラーゼ(ChE)	11	アルドステロン	122
γ-グルタミルトランスフェラーゼ(γ-GT)	11	サイロキシシン結合グロブリン(TBG)	130
中性脂肪	11	サイログロブリン	128
ナトリウム及びクロール	11	ヒト絨毛性ゴナドトロピン-βサブユニット(HCG-β)	129
カリウム	11	脳性Na利尿ペプチド(BNP)	130
カルシウム	11	カルシトニン	130
マグネシウム	11	ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)定量	130
クレアチン	11	ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)半定量	130
グルコース	11	抗グルタミン酸デカルボキシラーゼ抗体(抗GAD抗体)	134
乳酸デヒドロゲナーゼ(LD)	11	脳性Na利尿ペプチド前駆体N端フラグメント(NT-proBNP)	136
アミラーゼ	11	ヒト胎盤性ラクターゲン(HPL)	136
ロイシンアミノペプチダーゼ(LAP)	11	サイロキシシン結合能(TBC)	137
クレアチンキナーゼ(CK)	11	プロゲステロン	143
アルドラーゼ	11	グルカゴン	150
遊離コレステロール	11	低カルボキシル化オステオカルシン(ucOC)	154
鉄(Fe)	11	I型コラーゲン架橋N-テロペプチド(NTX)	156
血中ケトン体・糖・クロール検査 (試験紙法・アンブル法・固定化酵素電極によるもの)	11	酒石酸抵抗性酸ホスファターゼ(TRACP-5b)	156
不飽和鉄結合能(UIBC)(比色法)	11	オステオカルシン(OC)	157
総鉄結合能(TIBC)(比色法)	11	遊離テストステロン	159
リン脂質	15	骨型アルカリホスファターゼ(BAP)	157
HDL-コレステロール	17	インタクトI型プロコラーゲン-N-プロペプチド(Intact PINP)	163
無機リン及びリン酸	17	低単位ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)半定量	165
総コレステロール	17	I型コラーゲン架橋C-テロペプチド-β異性体(β-CTX)(尿)	169
アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ(AST)(GOT)	17	I型コラーゲン架橋C-テロペプチド-β異性体(β-CTX)	170
アラニンアミノトランスフェラーゼ(ALT)(GPT)	17	I型プロコラーゲン-N-プロペプチド(PINP)	160
LDL-コレステロール	18	副甲状腺ホルモン(PTH)	161
蛋白分画	18	カテコールアミン分画	161
銅(Cu)	23	デヒドロエピアンドロステロン硫酸抱合体(DHEA-S)	164
リパーゼ	24	サイクリックAMP(cAMP)	165
イオン化カルシウム	26	エストラジオール(E ₂)	167
マンガン(Mn)	27	エストリオール(E ₃)	180
		エストロゲン半定量	180
		エストロゲン定量	180
		副甲状腺ホルモン関連蛋白C端フラグメント(C-PTHrP)	180
		副甲状腺ホルモン関連蛋白(PTHrP)	186
		副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)	184
		カテコールアミン	184
		デオキシピリジノリン(DPD)(尿)	191
		17-ケトジェニックスステロイド(17-KGS)	200
		エリスロポエチン	209
		ソマトメジンC	212
		17-ケトステロイド分画(17-KS分画)	213
		17α-ヒドロキシプロゲステロン(17α-OHP)	213
		抗IA-2抗体	213
		プレグナンジオール	224
		メタネフリン	217
		メタネフリン・ノルメタネフリン分画	220
		17-ケトジェニックスステロイド分画(17-KGS分画)	220
		心房性Na利尿ペプチド(ANP)	221
		抗利尿ホルモン(ADH)	224
		プレグナントリオール	232
		ノルメタネフリン	250
		インスリン様成長因子結合蛋白3型(IGFBP-3)	280
		遊離メタネフリン・遊離メタネフリン分画	450
包括項目: 5項目以上7項目以下	93	包括項目: 3項目以上5項目以下	410
包括項目: 8項目または9項目	99	包括項目: 6項目または7項目	623
包括項目: 10項目以上	103	包括項目: 8項目以上	900

参考文献

- 微生物
微生物一般 小栗豊子編集:微生物検査ハンドブック
一般細菌・真菌塗抹鏡検 三輪谷俊夫 監修:図説臨床検査:細菌・真菌学:
医歯薬出版
一般細菌培養・同定 三輪谷俊夫 監修:図説臨床検査:細菌・真菌学:
医歯薬出版
嫌気性菌同定 上野一恵 他:日本細菌学会編:細菌学技術叢書,
1980年,菜根出版
薬剤感受性 Approved Standards.NCCLS Document M2-
A4.Villanova,Pa.(1990)
マイコプラズマ培養・抗原 日本細菌学会編:細菌学技術叢書2.1982.菜根出版
MRSA耐性遺伝子 生方公子 他:臨床と微生物19,141-148(1992)
A群溶連菌抗原迅速試験 杉田也 他:耳鼻臨床,79,1437,1442(1986)
結核菌群抗原 Edwards. E. A. et al:Milit. Med. 145,256(198)
髄膜炎菌抗原 Denis F. et al:Lancet,1(8234)1361(1981)
インフルエンザB型抗原 Shively. R. G. et al:J. Microbial. 14,706(1981)
カンジダ抗原 浜本恒夫:Japanese Journal of Medical
Mycology,26,288,275(1985)
抗酸菌鏡検 東堤 稔:臨床と微生物,vol.18,No.1(1991)
抗酸菌培養 Public Health Mycobacteriology, A Guide For
The Level III Laboratory 1985 U.S Department
of Health and Human Service
抗酸菌感受性 結核菌検査指針,厚生省(1979)
抗酸菌同定 日本結核病学会抗酸菌分類委員会:結核,vol.51,247-256
抗酸菌群核酸同定 楠 伸治 他:臨床病理,38,321(1990)
結核菌群核酸同定 島田 馨:感染症学雑誌,66(1),81-86(1992)
トリコナス鏡検 吉村 裕之 編:寄生学新書,文光堂
レプトスピラ鏡検 厚生省監修:微生物検査必携:細菌・真菌検査法第2版(1987)
赤痢アメーバ 吉村 裕之 編:寄生学新書,文光堂
カリニ原虫鏡検 吉村 裕之 編:寄生学新書,文光堂
クワトスホリジウム鏡検 井関 基弘:モダンメディア,32(9),489-498(1988)
クマシアトラコマティス核酸同定 松田清治:産婦人科治療,56(6),664-670(1988)
クオストリジウム ディイシル毒素 上野一恵 他:検査,14(2),3(1984)
フトウ球菌 エントロキシン 小田隆弘:日細誌,33,743(1978)
フトウ球菌 TSST-1 Igarashi H. et al:Infect Immun. 44,475(1984)
- 血清蛋白
血清総蛋白 臨床検査法提要改訂第35版(2020)
広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,第7版(2009)
臨床検査データブック 2019-2020
アルブミン 臨床検査法提要改訂第35版(2020)
広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,第7版(2009)
臨床検査データブック 2019-2020
血清蛋白分画 臨床検査法提要改訂第35版(2020)
広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,第7版(2009)
- 窒素化合物
尿酸 臨床検査法提要改訂第35版(2020)
広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,第7版(2009)
臨床検査データブック 2019-2020
高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン第3班(2019改訂)
尿素窒素 臨床検査法提要改訂第35版(2020)
広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,第7版(2009)
臨床検査データブック 2019-2020
クレアチニン 臨床検査法提要改訂第35版(2020)
広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,第7版(2009)
クレアチン 影山信雄:Medical Technology,15(2),127(1987)
臨床検査データブック 2019-2020
アンモニア 臨床検査法提要改訂第35版(2020)
尿中アリアミン 臨床検査法提要改訂第35版(2020)
プロウラーゲンⅢヘパト[®] 中野博 他:肝臓,24,975(1988)
IV型ウラーゲン[®]7S 三崎盛治 他:医学と薬学,20(5),1286(1988)
アミノ酸分析(血液・髄液・尿) 鷹野重蔵:科学の領域増刊号,121(1978)
- 脂質・関連物質
総コレステロール 臨床検査法提要改訂第35版(2020)
広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,第7版(2009)
臨床検査データブック 2019-2020
エステル型コレステロール 臨床検査法提要改訂第35版(2020)
広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,第7版(2009)
遊離コレステロール 臨床検査法提要改訂第35版(2020)
広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,第7版(2009)
HDL-コレステロール 臨床検査法提要改訂第35版(2020)
広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,第7版(2009)
臨床検査データブック 2019-2020
LDL-コレステロール 江草玄士:動脈硬化,24,260,1996
臨床検査データブック 2019-2020
中性脂肪 臨床検査法提要改訂第35版(2020)
広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,第7版(2009)
臨床検査データブック 2019-2020
- 遊離脂肪酸
リン脂質
総脂質
総胆汁酸
リ[®]蛋白分画(泳動法)
リ[®]蛋白(a)
コレステロール分画定量
リ[®]蛋白トリグリセリド分画定量
リ[®]蛋白リン脂質分画定量
アポリ[®]蛋白
- 酵素
AST(GOT)
ALT(GPT)
γ-GTP
アデニンデアミナーゼ[®]
グアナナーゼ[®]
CPK(CK)
CK-MB
ミオン軽鎖 I
ALP
コリンエステラーゼ[®]
トリプシン
エラスターゼ-1
リパーゼ[®]
膝ホスホリパーゼ[®]A₂
アミラーゼ(血清・尿)
P型アミラーゼ(アミラーゼ アイソザイム)
尿中NAG活性
LAP
ACE
リゾチーム
アルドラーゼ[®]
LDH(乳酸脱水素酵素)
■アイソザイム
CPKアイソザイム
ALPアイソザイム
アミラーゼアイソザイム
LDHアイソザイム
■糖質・関連物質
血糖 臨床検査法提要改訂第35版(2020)
広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,第7版(2009)
臨床検査法提要改訂第35版(2020)
ヘモグロビンA1c 臨床検査法提要改訂第35版(2020)
広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,第7版(2009)
河合厚生:臨床検査,33(8),901(1989)
臨床検査法提要改訂第35版(2020)
藤田清貴:衛生検査,23(10),1257(1979)
A. Hamai et al:Agric Biot Chem. 532 163(1989)
北村元仕:実践臨床化学,430
北村元仕:実践臨床化学,425
安原正善 他:臨床検査・機器,8(3),614(1985)
Lipton A. et al:Cancer,43,1766-1771(1979)
近藤孝司 他:臨床病理,36,536(1991)
■生体色素・関連物質
ビリルビン(総・直) 臨床検査法提要改訂第35版(2020)
広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,第7版(2009)
臨床検査データブック 2019-2020
- 臨床検査法提要改訂第35版(2020)
臨床検査法提要改訂第35版(2020)
Medical Technology,脂質のすべて(1980)
真重文子:臨床検査,23(2),129,1979
臨床検査法提要改訂第35版(2020)
広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,第7版(2009)
野間昭夫:医学のあゆみ,168(11),995,1994
板倉弘重:日本臨床,秋季増刊,333(1985)
板倉弘重:日本臨床,秋季増刊,333(1985)
板倉弘重:日本臨床,秋季増刊,333(1985)
伊藤忠一:検査と技術,16(7)増刊号,593(1988)
臨床検査法提要改訂第35版(2020)
広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,第7版(2009)
臨床検査データブック 2019-2020
臨床検査法提要改訂第35版(2020)
広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,第7版(2009)
臨床検査データブック 2019-2020
臨床検査法提要改訂第35版(2020)
広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,第7版(2009)
臨床検査データブック 2019-2020
江頭静摩 他:血清・現代の診療,24,131(1982)
伊東進:肝臓,11(3),448(1985)
臨床検査法提要改訂第35版(2020),血液・尿化学検査
臨床検査データブック 2019-2020
初山弘幸 他:医学と薬学,29(3),675(1983)
矢崎義雄 他:最新医学,44(8),1708(1989)
臨床検査法提要改訂第35版(2020)
日本臨床化学会臨床化学,19(2),209,1991
臨床検査法提要改訂第35版(2020)
広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,第7版(2009)
臨床検査データブック 2019-2020
早川哲夫 他:日消会誌,76,1513(1979)
早川哲夫:臨床成人病,11(8),1295(1981),
中野哲:胆と膵,2,1185(1981)
福山はる 他:血清リパーゼ測定の基礎的検討と臨床的意義(1990)
森貞貞,小川道雄:現代医療,20(10),3013(1988)
臨床検査法提要改訂第35版(2020)
広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,第7版(2009)
高木康:Lab. Clin. Pract. 6(2),47(1988)
芝紀代子:臨床検査,32(11),1222(1988)
臨床検査法提要改訂第35版(2020)
広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,第7版(2009)
臨床検査データブック 2019-2020
Kasahara Y. et al:Cli. cham,27,1922(1981)
北村元仕:実践臨床化学,376
宮原洋一:Med. Technol.,12,157(1984)
臨床検査法提要改訂第35版(2020)
広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,第7版(2009)
臨床検査法提要改訂第35版(2020)
臨床検査法提要改訂第35版(2020)
臨床検査法提要改訂第35版(2020)
臨床検査法提要改訂第35版(2020)

コロホルフイオン(定量) M. Salmi: Clinical Chemistry 1832 26(13)(1980)
 ウロホルフイオン(定量) 広藤雅雄, 広沢実一: 臨床化学, 17(1), 36(1988)
 プロホルフイオン(定量) M. Salmi: Clinical Chemistry 1832 26(13)(1980)
 コロホルフイオン定性(尿中) 臨床検査法提要改訂第35版(2020)
 コロホルフイオン定量(尿中) A. A. Ferrnandez: Assay of Vninary Porphyrus. Clinical Chemistry. 12(8), 463(1966)
 ウロホルフイオン定量(尿中) A. A. Ferrnandez: Assay of Vninary Porphyrus. Clinical Chemistry. 12(8), 463(1966)
 ホルフォビリンゲン定量(尿中) 浦田群平: 臨床化学分析 II 2版, 216(1979)
 シオゲロピン 臨床検査法提要改訂第35版(2020)

■電解質・無機質
 ナトリウム, カロルカリウム(血清・尿) 臨床検査法提要改訂第35版(2020)
 広範囲血液・尿化学検査: 日本臨床, 第7版(2009)
 臨床検査データブック 2019-2020
 カルシウム(血清・尿) 臨床検査法提要改訂第35版(2020)
 広範囲血液・尿化学検査: 日本臨床, 第7版(2009)
 臨床検査データブック 2019-2020
 イオン化カルシウム 中本潤子 他: 機器・試薬, 264(1978)
 無機リン(血清・尿) 臨床検査法提要改訂第35版(2020)
 広範囲血液・尿化学検査: 日本臨床, 第7版(2009)
 マグネシウム(血清・尿) 臨床検査法提要改訂第35版(2020)
 血清鉄 臨床検査法提要改訂第35版(2020)
 広範囲血液・尿化学検査: 日本臨床, 増刊号(1999)
 臨床検査データブック 2019-2020
 総鉄結合能 臨床検査法提要改訂第35版(2020)
 広範囲血液・尿化学検査: 日本臨床, 増刊号(1999)
 臨床検査データブック 2019-2020
 不飽和鉄結合能 臨床検査法提要改訂第35版(2020)
 広範囲血液・尿化学検査: 日本臨床, 増刊号(1999)
 臨床検査データブック 2019-2020
 銅(血清・尿) 臨床検査法提要改訂第35版(2020)
 広範囲血液・尿化学検査: 日本臨床, 増刊号(1999)
 亜鉛(血清・尿) Makino T. et al: Clin. Chem. Acta, 120, 127-135(1982)
 リチウム 渡辺昌祐: 基礎と臨床(1983)

■機能検査
 クリアチニン クリアランス 日本腎臓学会編CDK診療ガイド2012
 日本人における糸球体濾過量(GFR)推算式の比較検討 日腎会誌2006
 尿素クリアランス XI. 腎機能検査 尿素クリアランス medicina 12巻4号
 フィッシュハーク濃縮試験 臨床検査法提要改訂第35版(2020)
 ICG試験 臨床検査法提要改訂第35版(2020)
 PFD試験 衣笠勝彦 他: 臨床病理 夏季増刊号, 37, 2441(1979)
 アミラーゼ・クリアチニンクリアランス比 Amylase Creatinine Clearance Ratio (ACCR)に関する基礎的・臨床的研究 日本消化器学会雑誌 第78巻第4号

■ホルモン
 GH 石渡尚子: ホルモンと臨床, 36(6), 601-606(1990)
 SM-C 立花克彦 他: ホルモンと臨床, 42(12), 1175(1994)
 プロラクチン 青野敏博 他: ホルモンと臨床, 37, 441(1989)
 ACTH 武郡和夫: 日本臨床, 44(3), 105(1986)
 TSH 満間照典 他: 医学と薬学(1986)
 三浦義孝 他: ホルモンと臨床(1986)
 LH 青野敏博 他: ホルモンと臨床, 36, 1087(1988)
 FSH 青野敏博 他: ホルモンと臨床, 36, 1087(1988)
 T₃ 高原淑子 他: ホルモンと臨床, 27(11), 97(1979)
 T₄ 日本臨床, 805(1985)
 FT₃ 佐藤竜次: 医学と薬学, 29(5), 1261(1993)
 FT₄ 竹岡啓子 他: 臨床化学, 29(12), 1673(1993)
 TBG 下男新一 他: 甲状腺学, 149(1984)
 サイログロブリン 岡田敏春 他: ホルモンと臨床, 31, 589(1983)
 抗サイログロブリン抗体 家人蒼生夫 他: 医学と薬学, 27, 615(1992)
 コルチゾール 地曳和子: ホルモンと臨床, 28, 1127(1980)
 コルチゾール(尿) 佐藤恭史 他: ホルモンと臨床, 36, 823(1988)
 17-KGS(総) 神戸川明 他: 臨床病理, 19, 302(1971)
 レニン活性 萩原俊男 他: 5(4), 589(1981)
 活性型レニン定量 土屋ますみ 他: 医学と薬学, 32(3), 529(1994)
 アルドステロン E. Youssefneladian: STEROIDS 63 July(1973)
 カテコールアミン3分画 船橋修之 他: 臨床検査機器・試薬, 11(4), 635(1988)
 メタネフリン分画 永津修次: 臨床化学, 3, 364(1975)
 パニールマンデル酸 小山純一: 分析化学, 33, 347(1990)

ホモニリン酸 小山純一: 分析化学, 33, 347(1990)
 インスリン 中川昌一 他: 日本臨床, 38, 春季増刊, 1041(1980)
 インスリン抗体 中川昌一 他: 糖尿病, 15(6), 403(1972)
 C-ペプチド 松江良一 他: 医学と薬学, 7, 494(1982)
 ヘプシンゲン 三木一正編集: ヘプシンゲン法, 医学書院
 (血中) エストラジオール(E₂) Ratcliff W. et al: Ann. Clin. Biochem. 25, 466(1988)
 プロゲステロン(黄体ホルモン) 牧野恒久 他: ホルモンと臨床, 36, 975(1988)
 HCG(血清・尿)(絨毛性ゴナドトロピン) 飯野考一 他: 産婦人科の世界, 38, 999(1986)
 HCGβサブユニット 尾森春艶 他: 核医学, 29, 709(1992)
 HCS(HPL)(ヒト胎盤性ラクトゲン) 山口博司 他: ホルモンと臨床, 27, 191(1979)
 テストステロン 石原 他: 医学と薬学, 20(4), (1988)
 カルトニン 高見博 他: ホルモンと臨床, 37(2), 151(1989)
 セロニン Antem. Krstulovic: J. Chromatography. 16372(1979)
 5-HIAA 荒川規矩男 他: 臨床化学, 5(4), 385(1977)
 BNP(ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド) 中尾一和 他: 基礎と臨床, 25(13), 455(1991)
 NT-proBNP パスファーストBNP(株式会社LSIメディエンス, 第11版)
 エリスロポエチン 別所正美 他: Medical Immunology, 16(2), 189(1988)

■ビタミン
 ビタミンA 勝井五一郎: ビタミン, 56(2), 97(1982)
 ビタミンB₁ 安田和人: 臨床病理, 6, 564(1981)
 ビタミンB₂ 大石誠子, 八木国夫: ビタミン研究実験講座, 3, 57(1983)
 ビタミンB₆ Sunsdarsan. P. R. et al: Method Enzymol, 18, 509(1970)
 ビタミンB₁₂ 田中信夫 他: 医学と薬学, 5(2), 241(1981)
 ビタミンC 荒川信彦, 大塚恵: 臨床検査, 26, 19(1982)
 葉酸 外林秀紀: 医学と薬学, 5(2), 255(1981)

■薬剤・産業医学検査
 ジゴキシン 佐藤友英 他: 臨床検査, 32(12), 1459(1988)
 フェニトイン 三枚孝至 他: 臨床検査機器試薬, 8(4), 857(1985)
 フェリナルビタール 三枚孝至 他: 臨床検査機器試薬, 8(4), 857(1985)
 フリストン Oellerich M.: J. Clin. Chim. Biochem, 18, 197(1980)
 カルバマゼピン 三枚孝至 他: 臨床検査機器試薬, 8(4), 857(1985)
 ハルプロ酸 三枚孝至 他: 臨床検査機器試薬, 8(4), 857(1985)
 サリチル酸(アスピリン) 野口佳男 他: 基礎と臨床, 21(1), 511(1987)
 プロカイナミド 藤田優生 他: 臨床と研究, 6(7), 2367(1985)
 プロパノロール Ahnoff. M. et al: Chromatogr, 340, 73(1985)
 マトレキサート 菱田広 他: 病院薬学, 10(6), 413(1984)
 テオフィリン 石井彰: 臨床成人病, 20(10), 74(1990)
 メル馬尿酸 酒井公 他: 産業医学, 31, 9(1989)
 総三塩化物 城山康 他: 松仁会医誌, 25(2), 225(1986)

■梅毒血清反応・非ウイルス感染症
 RPR法 臨床検査法提要改訂第32版(2005)
 広範囲血液・尿化学検査: 日本臨床, 第7版(2009)
 臨床検査データブック 2019-2020
 産婦人科の実際 49(11): 1471~1479, 2000(一部改変)
 臨床検査法提要改訂第32版(2005)
 広範囲血液・尿化学検査: 日本臨床, 第7版(2009)
 臨床検査データブック 2019-2020
 臨床検査法提要改訂第35版(2020)
 臨床検査法提要改訂第35版(2020)
 加野孝次郎: 日本臨床, Vol.53, 増刊号, (1985)
 Aoyama T et al: Am J Dis Child 143, 655(1989)
 川名称治: ウイルス・リケッチア検査, 2, 240(1978)
 Walter J. S. et al: Dis. Chest. 53, 729(1968)
 Anderson S. E. and Remington J. S.
 Cesbron J. Y. 他: J. Immunol Methods. 83, 151(1985)
 国立予防衛生研究所学会編リケッチア・ウイルス実験学各論改訂第2版, 丸善(1982)
 厚生省監修: 微生物検査必携, ウイルス・リケッチア検査, 第2版
 別所敬子 他: 医学のあゆみ, 128, 571(1984)

TP抗体法
 FTA-ABS
 IgM FTA-ABS定性
 ASO
 百日咳菌抗体
 マイコプラズマ抗体(CF)
 アスペルギルス抗体
 トキソプラズマ抗体IgG
 トキソプラズマ抗体IgM
 ツツガム抗体IgG-IgM

■ウイルス血清反応
 ムンプスIgG-EIA 山中哲夫: 医学と薬学, 42, 303(1999)
 ムンプスIgM-EIA 厚生省監修: 微生物検査必携, ウイルス・リケッチア検査, 第3版, 48(1987)
 麻疹IgG-EIA 厚生省監修: 微生物検査必携, ウイルス・リケッチア検査, 第3版, 48(1987)

■凝固因子	
凝固因子活性 (II, V, VII, VIII, IX, X, XI, XII, XIII)	河野均弥 他:グラット・ウォール臨床検査学第II巻, 血液学(第1版)417-427(1983) 臨床検査法提要改訂第35版(2020)
■血小板機能, その他	
血小板第4因子(PF-4)	臨床検査法提要改訂第35版(2020)
β -トロンボグロブリン(β -TG)	臨床検査法提要改訂第35版(2020)
フォン・ウィルブラント因子	広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999)
第VIII因子インヒター定量	広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999)
第IX因子インヒター定量	広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999)
可溶性フィブリノゲン-複合体(SFMC)	広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999)
プロテインC	広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999)
PIVKA-II	広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999)
トロンピン・アンチトロンピンIII複合体(TAT)	広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999)
■尿一般検査	
尿一般	臨床検査法提要改訂第35版(2020)
尿比重	臨床検査法提要改訂第35版(2020)
尿蛋白定量	臨床検査法提要改訂第35版(2020) 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999)
尿糖定量	臨床検査法提要改訂第35版(2020) 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999)
尿沈渣	臨床検査法提要改訂第35版(2020) 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999)
■髄液検査	
髄液比重	臨床検査法提要改訂第35版(2020)
パンティール反応	臨床検査法提要改訂第35版(2020) 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999)
トリプトファン反応	臨床検査法提要改訂第35版(2020) 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999)
髄液細胞数	臨床検査法提要改訂第35版(2020)
髄液細胞種類	臨床検査法提要改訂第35版(2020)
髄液蛋白定量	臨床検査法提要改訂第35版(2020) 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999)
髄液糖定量	臨床検査法提要改訂第35版(2020) 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999)
髄液クロール	臨床検査法提要改訂第35版(2020) 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999)
■穿刺液検査	
穿刺液リハルト反応	臨床検査法提要改訂第35版(2020) 臨床検査法提要改訂第32版(2005) 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999)
穿刺液蛋白定量	臨床検査法提要改訂第35版(2020) 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999)
穿刺液沈渣 結石分析	臨床検査法提要改訂第35版(2020) 向原純雄:Arch Jpn Chir,50 476(1981)
■糞便検査・寄生虫検査	
寄生虫卵検査	山口富雄 編:臨床寄生虫学カラーアトラス,南江堂
虫体鑑別	山口富雄 編:臨床寄生虫学カラーアトラス,南江堂
糞便中ヒトヘモグロビン定量	臨床検査法提要改訂第32版(2005) 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999)
■病理・細胞診検査	
組織標本作製	日本病理学会編 病理技術マニュアル「病理組織標本作製技術」上・下
免疫組織染色(酵素抗体法)	池田康夫 他:免疫組織化学検査,臨床検査増刊号, Vol.39, No.11, 医学書院(1995)
細胞診検査	日中 昇 他:細胞診教本-その基礎と実際,宇宙堂(1975)
染色体検査	阿部達夫 編:腫瘍染色体アトラス,南江堂(1986)

専用容器一覧・取り扱い方法

容器形態・名称	検査項目・その他	容器形態・名称	検査項目・その他
<p>容器番号 1 滅菌スピッツ</p> 	<p>血清・血漿分離用 生化学検査一般 内分泌検査一般 血清学検査一般 尿一般検査</p> <p>容量 10mL</p> <p>内容</p> <p>貯蔵方法 室温</p>	<p>容器番号 4 血糖真空採血管</p> 	<p>血糖 HbA1c(NGSP)</p> <p>採血後軽く転倒混和</p> <p>容量 2mL</p> <p>内容 NaF,EDTA-2K</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間 製造後1年</p>
<p>容器番号 2 真空採血管分離剤入り</p> 	<p>生化学検査一般 内分泌検査一般 血清学検査一般</p> <p>容量 5mL</p> <p>内容 分離剤</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間 製造後1年</p>	<p>容器番号 5 血球算定用真空採血管</p> 	<p>血球算定 血液像 血液型</p> <p>採血後軽く転倒混和</p> <p>容量 2mL</p> <p>内容 EDTA-2K</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間 製造後1年</p>
<p>容器番号 3 真空採血管</p> 	<p>LE細胞 ケムテスト 血液型不適合</p> <p>容量 5mL 10mL</p> <p>内容</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間 製造後2年</p>	<p>容器番号 7 EDTA入り真空採血管</p> 	<p>レン活性 アンギオテンシン カテコールアミン</p> <p>採血後軽く転倒混和</p> <p>容量 5mL又は7mL</p> <p>内容 EDTA-2Na</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間 製造後2年</p>

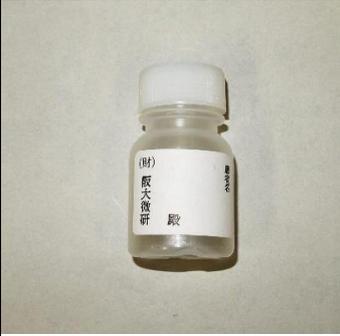
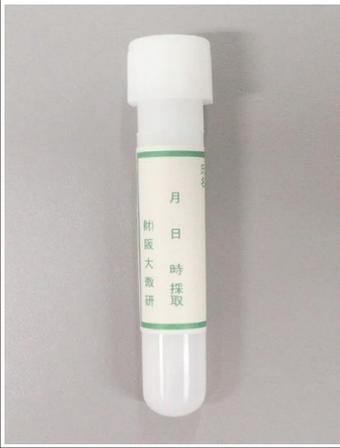
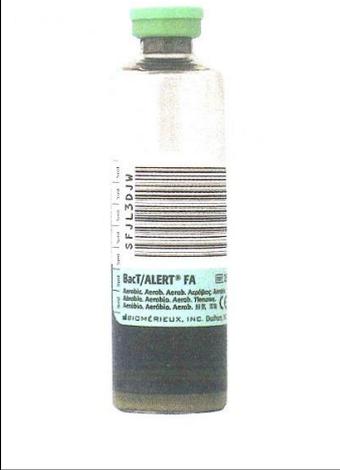
専用容器一覧・取り扱い方法

容器形態・名称	検査項目・その他	容器形態・名称	検査項目・その他
<p>容器番号 8 血液凝固用採血管 (真空採血管)</p> 	<p>PT・APTT フィブリノゲン ヘパラスチンテスト 凝固因子 血液凝固検査全般</p> <p>採血後軽く転倒混和</p> <p>容量 1.8mL</p> <p>内容量 0.2mL 3.2%クエン酸ナトリウム</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間 製造後1年</p>	<p>容器番号 12 FDP用採血管 (真空採血管)</p> 	<p>尿中FDP</p> <p>容量 尿 2mL</p> <p>内容 抗プラスミントロン剤</p> <p>貯蔵方法 冷蔵 有効期間 製造後1年</p>
<p>容器番号 9 ヘパリン入り (真空採血管)</p> 	<p>血中鉛 血中ホルフィン リボ蛋白リパーゼ*</p> <p>採血後軽く転倒混和</p> <p>容量 10mL</p> <p>内容 ヘパリンNa</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間 製造後2年</p>	<p>容器番号 13 過塩素酸入り</p> 	<p>乳酸 ピルビン酸</p> <p>採血後直ちに血液1.0mlを正確に入れ転倒混和後遠心分離し上清を汎用スピッツに移し凍結保存</p> <p>採血量 1.0mL</p> <p>内容量 1.0mL 1N過塩素酸</p> <p>貯蔵方法 冷蔵 有効期間 製造後1ヶ月</p>
<p>容器番号 11 血中アンモニア</p> 	<p>血中アンモニア</p> <p>採血後直ちに血液1.0mlを正確に入れ転倒混和後遠心分離し上清を汎用スピッツに移し凍結保存</p> <p>採血量 1.0mL</p> <p>内容量 4mL 除蛋白液</p> <p>貯蔵方法 冷蔵 有効期間 6ヶ月</p>	<p>容器番号 14 グルカゴン用</p> 	<p>hANP</p> <p>採血後直ちに冷却遠心で血漿分離し上清を凍結保存</p> <p>容量 2mL</p> <p>内容 アプロチニン EDTA2Na</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間 製造後2年</p>

専用容器一覧・取り扱い方法

容器形態・名称	検査項目・その他	容器形態・名称	検査項目・その他
容器番号 15 β -TG, PF4用 	β -TG PF4 容量 4.5mL 内容 テオフィリン, アデニン シピリダモール, クエン酸Na, クエン酸 貯蔵方法 遮光冷蔵 有効期間 製造後1年	容器番号 19 遮光EDTA管 (真空採血管) 	ビタミンB ₁ (チアミン) ビタミンB ₂ (リボフラビン) 容量 4mL 内容 EDTA-2Na(遮光) 貯蔵方法 室温 有効期間 製造後1年6ヶ月
容器番号 17 エントキシシ(血液用) β -D-グルカン 	エントキシシ(血液用) β -D-グルカン 容量 2mL 内容 ヘパリンナトリウム 貯蔵方法 室温 有効期間 製造後1年	容器番号 20 全血凍結検体用 (真空採血管) 	セロニン シクロスポリン 容量 2mL 内容 EDTA-2K 貯蔵方法 室温 有効期間 製造後1年
容器番号 18 HDV/RNA専用容器 (真空採血管分離剤入り) 	HDV/RNA 採血後遠心分離し血清分離の 確認後、容器ごと凍結保存 採血量 5mL 内容 分離剤 貯蔵方法 冷蔵 有効期間 製造後1年	容器番号 21 結核菌INF- γ 測定 (QFT-Plus: クオンティフェロンプラス) 	結核菌INF- γ 測定 (QFT-Plusクオンティフェロンプラス) 容量 1mL 内容 専用メディウム 貯蔵方法 4~25°C(冷蔵推奨) 有効期間 各容器に記載

専用容器一覧・取り扱い方法

容器形態・名称	検査項目・その他	容器形態・名称	検査項目・その他
<p>容器番号 33 糞便中ヒトヘモグロビン 用採便容器</p> 	<p>糞便中ヒトヘモグロビン (ラテックス法)</p> <p>容量</p> <p>内容 保存液</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間 製造後1年</p>	<p>容器番号 45 スワブキット3号</p> 	<p>細菌学的検査 真菌検査</p> <p>容量</p> <p>内容 アミース寒天</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間 1年</p>
<p>容器番号 41 滅菌スピッツ</p> 	<p>細菌学的検査 抗酸菌検査 真菌検査 尿一般検査 髄液, 穿刺液, 胃液 十二指腸液検査</p> <p>容量 10mL</p> <p>内容</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間</p>	<p>容器番号 46 滅菌喀痰容器</p> 	<p>細菌学的検査 真菌検査 抗酸菌検査</p> <p>容量 10mL</p> <p>内容</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間 1年 (外箱に記載)</p>
<p>容器番号 42 採便容器</p> 	<p>便細菌培養同定 便中ロウウイルス抗原 虫卵検査</p> <p>容量 拇指頭大</p> <p>内容</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間</p>	<p>容器番号 47 好気性Fボトル</p> 	<p>好気性菌培養同定 真菌培養同定</p> <p>容量 3~10mL</p> <p>内容 培地</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間 有効期間内 (ボトルに記載) 各医療機関でご用意ください</p>

専用容器一覧・取り扱い方法

容器形態・名称	検査項目・その他	容器形態・名称	検査項目・その他
<p>容器番号 48 嫌気性Fボトル</p> 	<p>嫌気性菌培養同定</p> <p>容量 3~10mL</p> <p>内容 培地</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間 有効期間内 (ボトルに記載) 各医療機関でご用意ください</p>	<p>容器番号 53 クラミジア・トラコマチス 核酸同定(尿検体用)</p> 	<p>クラミジア・トラコマチス核酸同定 (リアルタイムPCR法)</p> <p>容量</p> <p>内容 専用メディウム</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間 製造後1年</p>
<p>容器番号 49 ANAポートビケン</p> 	<p>嫌気性菌培養同定</p> <p>容量 3mL</p> <p>内容 培地</p> <p>貯蔵方法 冷蔵 有効期間</p>	<p>容器番号 54 クラミジア・トラコマチス 核酸同定 (泌尿器・子宮頸管分泌物検体用)</p> 	<p>クラミジア・トラコマチス核酸同定 (リアルタイムPCR法)</p> <p>泌尿器・子宮頸管分泌物検体用</p> <p>容量</p> <p>内容 専用メディウム</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間 製造後1年</p>
<p>容器番号 52 ヘリコポータ</p> 	<p>ヘリコバクターピロリ</p> <p>容量 10mL</p> <p>内容 培地</p> <p>貯蔵方法 冷蔵 有効期間 4ヶ月</p>	<p>容器番号 55 新型コロナウイルス (RNA同定) (鼻咽頭ぬぐい用)</p> 	<p>新型コロナウイルス (RNA同定)</p> <p>鼻咽頭ぬぐい用</p> <p>容量 15mL</p> <p>内容 鼻咽頭より検体を採取後綿棒 を容器に入る長さに切り、生理 食塩水またはPBSを2mL前後 添加してください</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間 製造後5年</p>

専用容器一覧・取り扱い方法

容器形態・名称	検査項目・その他	容器形態・名称	検査項目・その他
<p>容器番号 56 新型コロナウイルス (RNA同定) (唾液)</p> 	<p>新型コロナウイルス (RNA同定) 唾液採取用</p> <p>容量 50mL</p> <p>内容</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間 製造後3年</p>	<p>容器番号 76 プレザーブサイト液</p> 	<p>細胞診検査</p> <p>容量 20mL</p> <p>内容 細胞保存液</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間 有効期限内</p>
<p>容器番号 71 細胞診自己採取容器</p> 	<p>婦人科細胞診検査 (子宮ガン検査用)</p> <p>容量</p> <p>内容 細胞保存液</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間 1年</p>	<p>容器番号 77 病理組織検査容器</p> 	<p>病理組織検査</p> <p>容量 8mL</p> <p>内容 10%中性ホルマリン</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間 1年</p>
<p>容器番号 73 喀痰細胞診容器 (蓄痰用)</p> 	<p>細胞診検査 (肺ガン検査用)</p> <p>容量 30mL</p> <p>内容 細胞保存液</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間 1年</p>	<p>容器番号 78 細胞性免疫検査ヘパリン入り (真空採血管)</p> 	<p>細胞性免疫検査血液</p> <p>容量 5mL 10mL</p> <p>内容 ヘパリン</p> <p>貯蔵方法 冷蔵 有効期間 製造後2年</p>

専用容器一覧・取り扱い方法

容器形態・名称	検査項目・その他	容器形態・名称	検査項目・その他
容器番号 80 ウイルス遺伝子検査用 (血漿)(8ml採血用) 	HIV-1定量/リアルタイムPCR法 採血後遠心分離し血漿分離の 確認後、容器ごと凍結保存 容量 8mL 内容 分離剤 EDTA-2K 貯蔵方法 室温 有効期間 製造後1年	容器番号 83 細胞性免疫検査 	組織・肺洗浄液など 血液・骨髄液以外の材料用 ※万一濁りがあったり液色が真 赤になったものは、使用しない で下さい。材料は無菌的に移 し浮遊させて下さい。(※容器 は到着後、凍結保存して下さ い。(ドライアイス不可)) 容量 内容 10%FBS加RPM1640 貯蔵方法 到着後凍結(ドライアイス 不可) 有効期間 製造後1年
容器番号 81 血液型検査専用管 (CPD入り真空採血管) 	Rh-Hr式血液型 (5因子) 容量 5mL 内容 ケン酸ソーダ、ケン酸 リン酸2水素Na、ブドウ糖 貯蔵方法 室温 有効期間 製造後1年半	容器番号 84 細胞性免疫検査骨髄用 	骨髄液 使用時は37℃で解凍して下さい。 容量 2mL 内容 培養液 貯蔵方法 到着後凍結(ドライアイス 不可) 有効期間 製造後1年
容器番号 82 ウイルス遺伝子検査用 (血清)(5ml採血用) 	HBV-DNA定量/リアルタイムPCR法 容量 5mL 内容 分離剤 貯蔵方法 室温 有効期間 有効期限内	容器番号 85 エンドトキシン (透析液用) 	透析液 容量 4mL 内容 安定化剤入り 貯蔵方法 冷蔵 有効期間 製造後1年

専用容器一覧・取り扱い方法

容器形態・名称	検査項目・その他
<p>容器番号 86 クラミジア・トラコモチス 核酸同定 (泌尿器・子宮頸管分泌物 検体用)</p> 	<p>クラミジア・トラコモチス核酸同定 (TMA法)</p> <p>容量 2.9mL</p> <p>内容 専用メディウム</p> <p>貯蔵方法 室温</p>
<p>容器番号 87 クラミジア・トラコモチス 核酸同定 (うがい液・尿検体用)</p> 	<p>クラミジア・トラコモチス核酸同定 (TMA法)</p> <p>容量 2mL</p> <p>内容 専用メディウム</p> <p>貯蔵方法 室温</p>
<p>容器番号 88 HIV専用</p> 	<p>HIV抗原・抗体 HIV-1抗体/WB法 HIV-2抗体/WB法 他</p> <p>容量 5mL</p> <p>内容 血清分離剤 凝固促進用シリカ微粒子</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間 製造後1年</p>